

自立活動の取り組み～小学部学年グループの実践「かたるンジャー」を通して～

滋賀県立守山養護学校 西村泰彦

○はじめに

守山養護学校は、病気やけがのため継続的な医療または生活規制を必要とする児童生徒が入院しながら学ぶことができる特別支援学校（病弱）です。滋賀県立小児保健医療センターに入院している児童生徒が通う本校と、大津赤十字病院に入院している児童生徒が通う大津分教室があり、小学部および中学部が設置されています。年間100名を超える児童生徒が転入しています。

本校では、各学部にて学年グループと重複グループを設け、学年グループでは小学校・中学校の学習指導要領に準じた教育課程により学習しています。その中の小学部学年グループの自立活動の学習における取り組みについて発表します。

○小学部学年グループの児童の実態

|   |  |
|---|--|
| ① | 骨の延長、矯正を主とする治療<br>軟骨無形成症、骨形成不全症など      |
| ② | ギプスなどにより患部を固定する治療<br>ペルテス病、側彎症、股関節脱臼など |
| ③ | その他、小児科などによる治療<br>食物アレルギーなど、さまざま       |

- 県内外から転入があり学年別に人数の偏りは少ないが、①②の割合が比較的高い

○小学部学年グループの教育課程

- 各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動並びに自立活動によって編成
- 校時表

| 校時           | 時間          |
|--------------|-------------|
| 0校時児童生徒登校    | 9:40～9:55   |
| 0校時 / 院内授業開始 | 9:55～10:35  |
| 登校           | 10:20～10:35 |
| 朝の会          | 10:35～10:45 |
| 第1時限         | 10:45～11:25 |
| 第2時限         | 11:35～12:15 |
| 昼食 / 休憩      | 12:15～13:05 |
| 第3時限         | 13:05～13:45 |
| 第4時限         | 13:55～14:35 |
| 第5時限         | 14:45～15:25 |
| 第6時限(火のみ)    | 15:30～16:10 |

- 自立活動

特設自立

- わかあゆタイム（小学部全体）
- 隣接学年または、**縦割での学習**

昼食昼休み指導

- 学校生活、仲間づくりなど

「かたるンジャー」

○「かたるンジャー」

かたるンジャーとは

一人ひとりが主人公となり、語り合い、認め合い、自信を持ち、前向きになることを目標としたクラスを超えた治療別縦割による集団自立活動の学習である。複数の指導者で課題やねらい、情報の共有を図り、きめ細かな指導・評価を行っている。

ねらい

- 病気の状態を理解し、生活管理や健康状態の維持、改善についての意識を高める
- 状況の変化を理解し、治療を前向きに受け止める。
- 集団の中で自己の理解を深め、他者の感情や状況を理解し共感し合う。

学習内容

- ①かたるンジャークイズ  
＜治療のミニ博士になろう＞
- ②かたるンジャーアンケート  
＜同じ治療の仲間を知ろう＞
- ③いせんはるンジャー  
＜気持ちを出そう、伝えよう＞
- ④ビンゴするンジャー  
＜みんなのことを知ろう＞
- ⑤隣接かたるンジャー  
＜その後のかたるンジャー＞
- ⑥退院するンジャー  
＜退院に向けて考えよう＞

学習指導

指導案→実践→振り返り→次回の指導と検討を重ね、回数や時期も含め検討考察しながら取り組む。また、「かたるンジャーつばやきメモ」として児童の様子を記録して、情報共有を図る。

評価

- 通信箋（文章表記）
- 個別の指導計画様式3（自立活動の記録）

課題

- 在籍児童により変わる集団への対応、学習内容、教材、病気の理解など
- 退院後の各学校への引き継ぎ、連携

○まとめ

自立活動の学習を通して病気と向き合い、退院し、元の学校や家庭で自己実現に向けて活躍する姿をイメージして学習内容や教材研究に取り組んでいる。今後も、日々の実践を通して、病弱特別支援学校としての専門性を高めていきたいと考えている。